
小論文ですよ～！『精神進化とヒエラルキーの破壊』

ハルメク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小論文ですよ～！『精神進化とヒュラルキーの破壊』

【著者名】

【作者名】
ハルメク

N6826A

【あらすじ】

小論文です。どうか一つの意見として受け取ってください。

宇宙は毎秒4000キロの速さで膨張している。宇宙は何処かへ向けて広がり続けている。考えてみるとそれは私たちにとって無限というものである。考えると、気が狂ってしまいそうになる。たがら無限である。

有限世界の私たちはいつか死ぬ。

だから人は悩みなく、人生を晴れやかに歩みたいと思う。だが、その人々に無理矢理介入しようとするとする者たちがいる。その者たちは、露悪を信仰し自分たちの都合の良いように周りの環境を変化させてしまう。これが『露悪信仰者』である。その環境に適応できない者たちは虐げられ、様々な手段で撃滅されてしまう。

教育の現場、学校ではそのプロセスがよく観察できる。学校では露悪信仰者によって階級制度が形成される。『学校ヒエラルキー』である。その頂点に立つのは、

「教育免許取得者またそれに等しいもの」

ではない。露悪を信仰し、周りの環境を変えていった者たちが頂点に立つのである。学校ヒエラルキーの下層の者は虐げられる。精神を、体を、思想を、未来を、切り捨て御免されるのだ。

なぜか。一介の高校三年生男子である私は考えた。脳の最深部、大脑生理学においての未開の地に眠る人間の支配本能によるものなのか、ただの流行なのかと日夜思考した。

思考結果。

私は人間の原始的な本能だと考える。

人間も動物であり、地球で進化してきた生物だ。

古代生物から人間へと派生し、進化してきた我々には、その過程の歴史がある。その歴史の中で、学校ヒエラルキーに類似する事象がみられる。『虐げ、切り捨て御免』という人間の足跡である。私た

ちはこれを教育科目の中でも学んでいるので知っている。活字と色鮮やかな挿絵、解りやすい資料によつて学んでいたのだ。

これらを省みて、私たちの今と何が変わつただろうか。私たちは、人間は精神的に進化していないのである。それで、本能に従い他の者を虐げる。本能に従うのだから快いのかもしれない、小気味いいのかもしれない。そして、学校ヒエラルキーを創り出す。

人類が出現して現在まで、人間は自然を排斥し、自分たちの住処にしている。地球の環境を変えているのだ。それは人間が、他の人を虐げているのと同じ原因によるものである。

私たちは本当のところで他の個人と共生していないと言える。そして地球の自然とも共生していない。

『相互理解』『相互尊重』ということが必要である。ヒエラルキーというものを無くし、人間中心とした優先順位を無くさなければならぬ。そして精神的な進化を目指すことを念頭に置き、これから的时间を生活していくことが重要である。

(後書き)

構成・語彙、言葉回しが未熟な気がします。御指導のほどを。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6826a/>

小論文ですよ～！『精神進化とヒエラルキーの破壊』

2010年10月10日01時30分発行